

活動プログラムシート

<貸出ツール番号:A04-07>

教えてニッポン！



全国地球温暖化防止活動推進センター

2015年3月 Ver.01

JCCCAの活動プログラムとは…

参加者が地球温暖化問題と自分自身のつながりを知り、地球温暖化防止のために様々な行動をはじめるときっかけとなるプログラムツールを独自に開発しています。

●活動プログラムは、温暖化の情報を見聞きするだけではなく、参加者が頭や体を使ったりグループワークをしながら温暖化問題を考え、その防止への一歩を踏み出すきっかけとなるように工夫されています。

●この「プログラムシート」には、活動プログラムの「ねらい」や「手順」「注意点」などを記載してあります。ご利用の際に活用してください。

●プログラムの内容については、地域の特性、対象者の年齢や興味関心、かけられる時間、人数などによってアレンジしてください。

●ご活用後の感想やお気づきの点、活用の事例などを、添付のアンケート用紙にお書きください。皆様のご意見をプログラムの改良や新規開発に活かし、全国へ再発信してまいります。

お問合せやご質問などは、下記までご連絡ください。

全国地球温暖化防止活動推進センター

電 話 03-6273-7785

1 ねらい／テーマ

地域の地形、町のつくりや成り立ちなどを日本地図パズルやクイズを通して知り、これからの気候変動に地域としてどう立ち向かい適応していくか考え、理解を深め行動へとつなげる。

テーマ：地球温暖化の適応（対策）

2 概要

日本地図パズルや都道府県クイズを通して考えたことをワークシートにまとめる。自分の地域の特徴を知り、このまま地球温暖化が進んでいくと考えられるリスクに対して、どう立ち向かっていくか、どう適応していくか、自分なりのアイデアをまとめ、行動に移していく。

- 所要時間・・・40分程度
- 対象層・・・小学校高学年以上
- 適数・・・指導者1名あたり参加者20名程度（参加者は40名程度まで可能）

3 皆さんにご用意いただくもの

※JCCCAからの貸出物は、ツールボックスに入れてさせて頂いている「チェックリスト」をご覧ください。

・日本地図パズル（完成サイズ横150cm程度×縦200cm程度）が貼れる大きさで、マグネット対応のホワイトボード、黒板、壁など。

マグネット対応の壁が用意できない場合は、床にカーペットなどを敷いて実施してもよいでしょう。ただし、パズルが汚れないよう、ご注意のうえご使用ください。

・グループワークをすることができる机やスペース、水性ペンなどの筆記具。

机が準備できない場合はクリップボードなどを用意すると良いでしょう。また、ワークシートはあらかじめ、人数分コピーをしておくとう良いでしょう。

4 関連づけしやすいJCCCAの教材ツール

■【A01-03】地球が病気!?

http://www.jccca.org/tool/list/list_a01-03.html

■【A04-05】昼の地球

http://www.jccca.org/tool/list/list_a04-05.html

■【A14-01】未来は変えられる

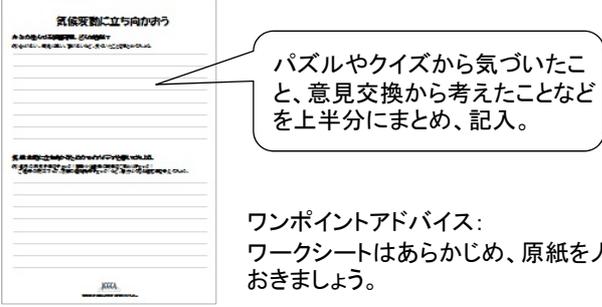
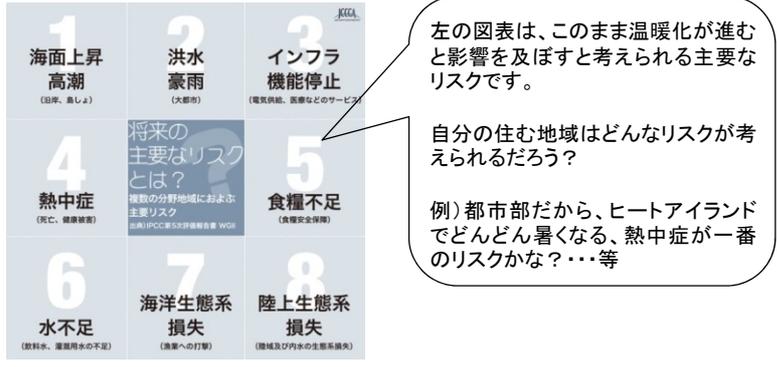
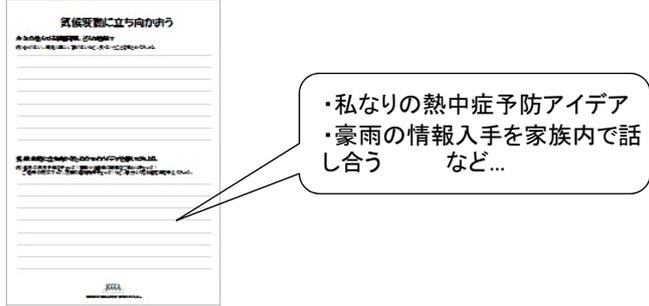
http://www.jccca.org/tool/list/list_a14-01.html

■【E05】自然エネルギーカードゲーム

http://www.jccca.org/tool/list/list_e05.html

5 活動プログラムの進め方(例)

形態	時間	使用ツール	内容
導入	10分	日本地図パズル	<p>パズルを用いて都道府県の位置、大きさを知る</p> <p>衛星画像を使用したリアルなパズルを用いる。実際に手に取り、配置することによって大きさや位置、地形から「気づき」を引き出す。</p>  <p>完成サイズ: 縦180cm×横120cm程度 ウレタンボードにマグネット仕様。 床で実施することもできるが、ホワイトボードやマグネット対応の壁でも使用可。</p> <p>気づきの例: 「〇〇の近く」「△△県の何倍くらい大きい!」「森が多い」「たくさん川が流れている」「南北に長い」など</p>
本体	10分	クイズフリップ	<p>クイズを通して、自分の地域の特徴を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「面積が大きいベスト5は?」 ・「平均気温が高いベスト5は?」 ・「一日の最高気温が平均して高いベスト5は?」 ・「降水量の多いベスト5は?」 ・「台風の上陸数が多いベスト5は?」 ・「森林の多い県ベスト5は?」 ・「低地面積の多い県ベスト5は?」などなど・・・様々な都道府県の情報をクイズを通して知り、自分の地域の特徴を考える時間とする。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="552 1283 855 1507"> <p>都道府県ランキング</p> <p>森林面積割合が大きい県ベスト5は?</p>  </div> <div data-bbox="874 1283 1182 1507"> <p>森林面積割合BEST5</p> <p>1位 高知県</p> <p>2位 岐阜県</p> <p>3位 山梨県</p> <p>4位 島根県</p> <p>5位 奈良県</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="552 1518 855 1742"> <p>2015年度</p> <p>一日の最高気温の平均が高い県ベスト5は?</p>  </div> <div data-bbox="874 1518 1182 1742"> <p>一日の最高気温平均の高さBEST5</p> <p>1位 山梨県</p> <p>2位 京都府</p> <p>3位 大阪府</p> <p>香川県</p> <p>5位 鹿児島県</p> <p>沖縄県は30位!</p> <p>沖縄県は30位!</p> <p>沖縄県は30位!</p> </div> </div> <p>クイズにはアイコンがついています。同じアイコンがついているものが「Q」「A」のセットとなっています。</p> <p>◀クイズフリップの例</p> <p>ワンポイントアドバイス: クイズは全部で10問用意してあります。 お住まいの都道府県がランキングに入っているクイズを時間に応じて何問か実施すると良いでしょう。もし、ランキングに入っていない場合は、バックデータを使用することで、自分の県が何位にあるかわかりますので、バックデータ資料もごらんください。</p>

形態	時間	使用ツール	内容
まとめ	10分	ワークシート (上半分)	<p>パズル・クイズを通して、気づいたことをまとめる</p> <p>自分の住む都道府県や地域はどんな地形、特徴があるのか、気づいたことや考えたことをふりかえり、ワークシートにまとめる。</p> 
		図表	<p>気候変動リスクの情報を知る</p> <p>このまま気候変動が進むと気温上昇、局地豪雨などが増え、様々なリスクが高まることを知る。</p> 
		ワークシート (下半分)	<p>気候変動リスクの情報をもとに自分なりの適応アイデアをまとめる</p> <p>気候変動リスクに立ち向かう(適応する)ための自分なりのアイデアを考え、ワークシートにまとめ、発表。お互いにアイデアを共有することで適応するための考える力を培い、気づきを提供、理解・行動へとつなげる。</p> 

※時間配分はあくまでも目安です。人数や場のつくり、目的に応じて深める時間をとってよいでしょう。

7

関連情報

■参考情報

・統計でみる都道府県のすがた2015(総務省ホームページ)

<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?bid=000001056525&cycode=0>

・総務省統計局 日本の統計の中核機関「国土・気象」

<http://www.stat.go.jp/data/nenkan/01.htm>

・気象庁 各種データ・資料

<http://www.jma.go.jp/jma/menu/menureport.html>

8

地域でのアレンジについて

○市区町村から考えてみよう

都道府県をさらに細分化(市区町村)したものをつくってみると、より身近な地域の状況が見えてくるかもしれません。

○地域の特徴を知ろう

自分たちが使っている電気や水、食べものなどはどこから運ばれてるんだろう。自然エネルギーの普及割合は？テーマ変えて都道府県パズルを実施しても面白いかもしれません。

● 情報提供のお願い ●

「こんなふうに使ってみたよ」「こんなデータが集まった」というような情報など、ぜひJCCCAへお知らせください。プログラムや教材ツール開発に活かし、全国へと再発信してまいります。よろしく申し上げます。